

承認番号	3835
研究課題名	難治てんかんの神経病理学及び神経生理学研究
研究の意義・目的	てんかん発作には病的な興奮性が持続されるための異常な神経ネットワークが存在することが想定されてきた。そのネットワークが具体的にどのような経路を示すのかは解明されていない。てんかん性放電を広範囲に投射し、異常な神経ネットワークを形成するpathwayを神経病理学的に解明することは、難治てんかんの発症機序の解明と新規治療法開発に有用である。てんかん原性進展の原因として脳内ネットワークを形成する大脳皮質-皮質間または皮質下白質の脳内ネットワークに着目し、白質を構成するミエリンの形成細胞であるオリゴデンドログリアの病理学的な異常を明らかにすることを目的とする。神経生理学検査との相関性を見いだすことで、より高い発作予後を目指した外科切除範囲決定の一助として、寄与する。
研究期間	承認後 ～ 2024年3月31日（西暦）
研究対象者の範囲	2014年4月1日～2022年3月31日に大阪市立大学医学部附属病院の小児科、脳神経外科、及び、長崎医療センター小児科・脳神経外科で、難治てんかんの治療のため手術された患者さまが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	手術切除標本、脳波・脳磁図データ
利用者の範囲	大阪市立大学医学部附属病院、 国立病院機構長崎医療センター 秋田県立循環器・脳脊髄センター
研究機関の情報	【研究責任者】 大阪市立大学医学部 発達小児医学 講師 佐久間 悟 【実施分担者】 大阪市立大学医学部 脳神経外科学 講師 宇田 武弘 所属：大阪市立大学医学部 診断病理・病理病態学 教授 大澤 政彦 【共同施設・研究者】 国立病院機構長崎医療センター 小児科医師 本田涼子 国立病院機構長崎医療センター 脳神経外科医長 小野智憲 秋田県立循環器・脳脊髄センター 脳神経病理学研究部 研究部長 宮田元
代表施設のURL	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/pediat/
試料・情報を公表する方法	研究成果は研究対象者を特定できないようにした上で学会や学術雑誌等で公表する
試料・情報の提供方法	特定の個人を識別できない形で試料・情報を提供します。
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	大阪市立大学医学部発達小児医学 講師 佐久間悟
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	郵便：〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学 電話：06-6645-3816 佐久間悟